

経営比較分析表（令和4年度決算）

北海道 八雲町

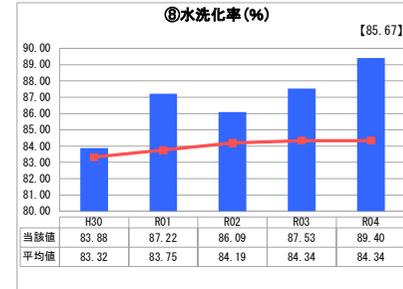
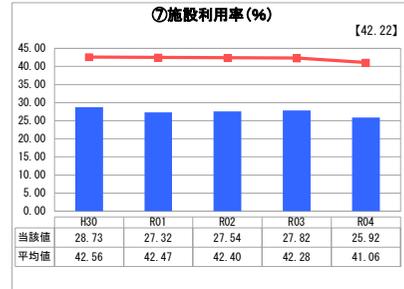
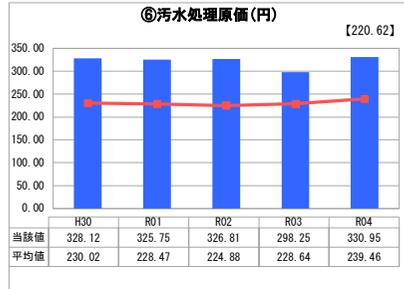
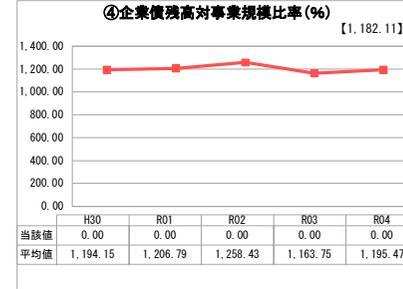
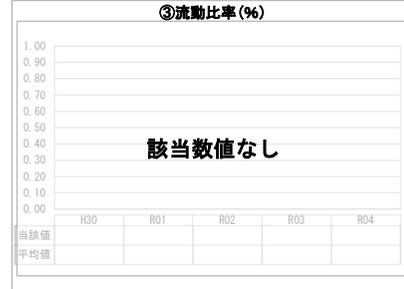
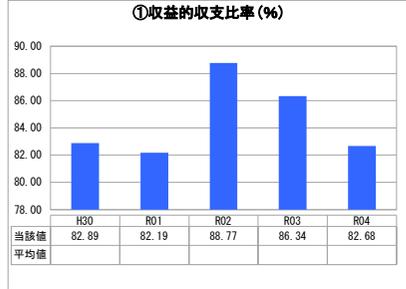
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	12.20	91.67	3,630

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
15,050	956.08	15.74
処理区域内人口(人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
1,820	1.97	923.86

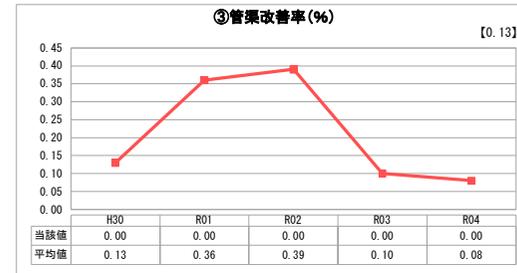
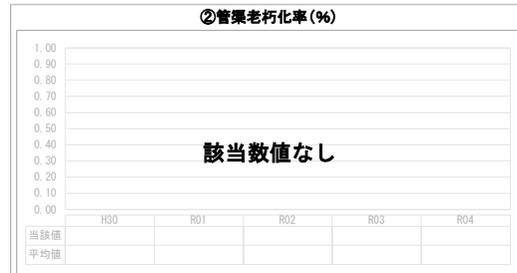
グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率については、過年度分消費税修正申告による還付金受入れのあった令和2年度を除き下降していたが、令和3年度は上昇に転じたが、再び下降している。今後もコスト削減に重点をおいていく必要がある。

④企業債残高対事業規模比率については、類似団体平均値を下回っているが、今後は施設の大規模修繕・更新により、多額の起債借入が発生する。ストックマネジメントに基づき、計画的に建設改良事業を進めることで、起債借入額を平準化し、起債残高の抑制に努める。

⑤経費回収率については、類似団体平均値を大きく下回っており、今後の人口減少も勘案すると、大幅なコスト削減と収入増が強く求められる。

⑥汚水処理原価については、毎年、類似団体平均値を大きく上回っており、更なる維持管理費の削減等による経営改善が必要である。

⑦施設利用率については、類似団体平均値を大きく下回っており、施設規模の見直しが必要である。

⑧水洗化率は平成29年度以降ならかに上昇し、類似団体平均値を上回っているが、経費回収率等が低率となっていることから、水洗化率向上の取組強化を継続していく必要がある。

以上のことから、施設規模の見直しを含めた維持管理費の削減等による本格的な経営改善を行い、かつ使用料改定による収入増を図っていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

供用開始後約22年経過しているが、管渠については、いまだ耐用年数を経過していないため、現時点では老朽化しているとは言えない。

しかし、機械・設備については、耐用年数の15年を経過しているため、これから更新していく必要がある。

今後は施設全体が徐々に老朽化していくことが予想されるため、計画的な更新を検討していく必要がある。処理場の機械設備等更新やマンホールポンプ所の更新を順次行う予定である。

全体総括

使用料改定による収入の増を図るとともに、施設規模の見直しを含めた維持管理費の削減等、更なる経営改善が必要である。

また、将来的に人口減少による使用料収入の減、施設老朽化による更新費用の増大など、厳しい経営状況が予想されることから、常に先を見据えた計画的な経営を行っていく必要がある。

そのため、令和6年4月からの公営企業会計の適用を進めるとともに、合わせて使用料改定について検討する。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。